

## 患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を行っております。対象となる患者さんのデータを用いて行いますが、個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

研究課題名	経皮内視鏡的胃瘻造設術患者に対する短期集中的体系的嚥下リハビリテーションの効果について
研究責任者 (共同研究者)	小山内奈津美 森永伊昭 花田和可子
研究目的と意義	当院では、経皮内視鏡的胃瘻造設術（以下 PEG）目的で入院した患者に対して、入院当日に嚥下機能検査を実施し、検査結果に基づいた嚥下リハビリテーションを積極的に実施しております。当院のPEG 目的での入院期間は約 1 週間と短期間ではありますが、短期間のリハビリテーションにおいて、経口摂取が可能となった事例が報告されています。本研究の目的は、PEG 患者に対する短期集中的体系的嚥下リハビリテーションの意義や効果、退院時の経口摂取の可否に関連する要因について検討するものです。
調査対象となる方 (該当期間)	2020 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの期間に、当院に PEG 目的で入院した患者のうち、短期集中的体系的嚥下リハビリテーションを実施した 71 例。
研究方法 (使用する情報)	電子カルテに記載のある診療記録と検査データを利用します。 (性別、年齢、原因疾患、入院期間、発症から PEG までの日数、脳血管疾患の既往の有無、入院時 Alb 値、入院時と退院時の摂食嚥下能力、兵藤スコア、入院時の機能的自立度評価)
研究期間	2024 年 2 月 9 日（倫理委員会承認日）より 1 年間
個人情報の取り扱い	個人情報は厳正に管理し、利用する情報から氏名や住所などの患者様を直接特定できる情報（イニシャル、生年月日、当院 ID など）は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	この研究に関して新たに患者様にさせていただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者さんが診療の上で不利な扱いをうけることはありません。 お問合せ先：津軽保健生活協同組合 健生病院 リハビリテーション科 研究責任者：小山内奈津美 電話番号：0172-55-7717
備考	特記なし